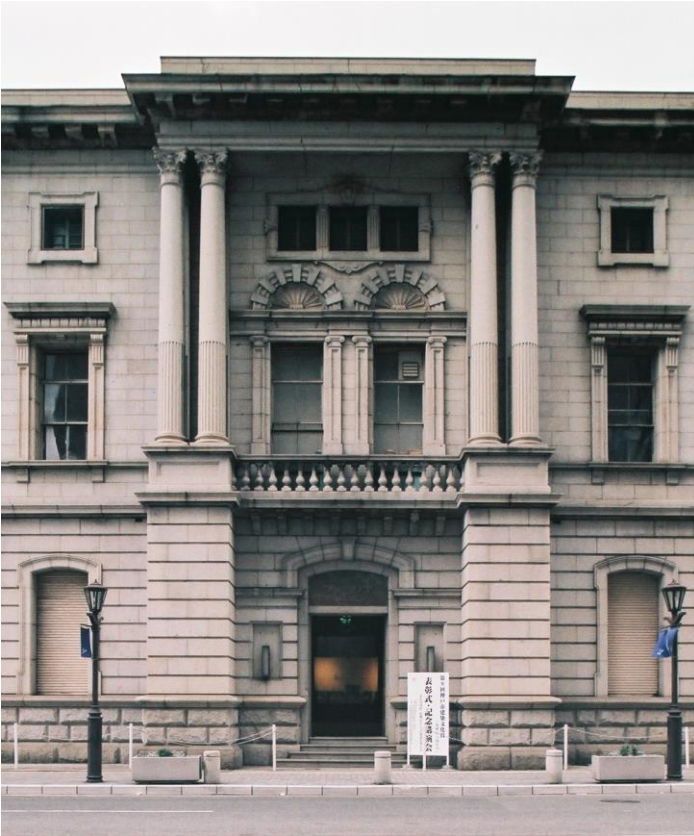


シンポジウム「旧三菱銀行神戸支店を巡って」



神戸市中央区の「旧三菱銀行神戸支店」(1900年頃竣工、設計：曾禰達蔵)は、日本随一の金融街として繁栄した栄町通の西詰に在って、神戸における最初期の本格的な西洋様式建築で、明治期の大規模な銀行建築であり、また日本最初の建築家の一人・曾禰達蔵(1852～1937)の個人作品として、全国時に見ても希少な現存作品の一つです。

神戸空襲での被害もありましたが、内部は戦前期の様子をよくとどめ、約40年前、子供服大手の株式会社ファミリア(本社：神戸)が取得し、本社倉庫などに活用してきました。阪神淡路大震災にも耐え抜きましたが、この4月中旬、所有者が同建物を含む本社事務所の敷地等を売却する契約を、2015年末に大手不動産業者と締結しており、業者はタワーマンションを建設、旧三菱銀行神戸支店の外観の一部を「復元・保存」を検討している事が、新聞報道により明らかにされましたが、詳細は不明です。

この歴史的建造物をより詳しく知り、神戸らしい歴史的建造物や景観を次代にいかに受け継ぐかを考えるシンポジウムを開催いたします。宜しければ、是非、ご参加下さい。

■開催日 平成28年6月4日(土)
 ○会場 こうべまちづくり会館3階多目的室
 (神戸市中央区元町通4-2-14、078-361-4523)

18:00 開 会
 基調講演 石田潤一郎
 (建築史家、京都工芸繊維大学大学院教授)
 (休 憩)
 19:25 話題提供 武田則明
 (港まち神戸を愛する会会長、建築家)
 経過報告 (事務局)
 20:20 フロアとの質疑応答、意見交換
 20:50 終 了

◆主 催 港まち神戸を愛する会
 ◆資料代 1000円
 ◆申 込 電話・fax 078-591-3834
 Eメール minatomachikobelove@gmail.com
 ※5月31日〆切(70名に達し次第締切り)
 ※お名前、参加人数、連絡先をお知らせ下さい。
 (個人情報(本企画以外)に用いません。)

